

設計図書に関する質問の回答書

道建第 4650 号
令和5年2月17日

入札参加者 様

道路局建設部建設課長

調達公告版	契約番号	工 事 名
第 1 5 4 号	2312010001	都市計画道路桜木東戸塚線（平戸地区） 街路整備工事

この工事の設計図書に関し、次のとおり回答します。

質問 No.	質 問	回 答
1	総合評価実施要領書 12(1) 技術資料の審査及び評価点の算出「エ 技術資料は別紙2で指定されたサイズ、枚数内を評価する」とありますが、別紙2に枚数に関する記述がありません。制限枚数をご教示ください。	各様式につき、1枚ずつとしてください。ただし、実績を証明する補足資料については、制限枚数はありません。
2	要求水準書 2. 1 共通項目「施工範囲内にある残土、廃棄物については処分すること。」とあります。処分対象の品目、数量をご教示ください。	公告した図面及び現地確認により設計・計上してください。想定と異なる場合は、その他連絡事項によります。
3	要求水準書 3. 3 トンネル本体工「路面排水、中央排水は自然流下として処理すること。また、流末接続を行うこと。」とありますが、流末接続の位置、高さをご教示ください。	下水台帳及び管理者に照会確認したうえで、計画をしてください。詳細については、協議によります。接続先の決定は、詳細設計時の協議で実施することを想定しています。
4	図面 1 施工範囲明示図(2/3)の区画(949 6)の範囲は、施工ヤードとして使用可能でしょうか。	現在民有地であり、使用できません。民有地の使用については、協議によります。施工上必要と判断された場合は、その他連絡事項によります。
5	仕様書■周辺環境関係「本工事の施工にあたっては、定期的な地表面の高さ計測（水準測量）及び井戸の流量調査など行うこと」とありますが、井戸の流量調査として実施すべき内容の詳細をご教示ください。	井戸の流量調査としての実施すべき内容は、技術提案の内容として求めていますので指定はしていません。
6	図面 1 施工範囲明示図（2/3）で、市道 231 号に施工範囲を示す赤枠がありますが、当該部分は施工期間の通行止めが可能と考えてよろしいでしょうか。	通行止めは可能と考えていますが、交通管理者等との協議が必要になります。地権者との協議によりますが、民地への出入り等を考慮した有益な提案を実施して下さい。
7	実施要領書 5 技術提案の評価項目「V 安全管理に留意すべき事項」の“2. 第2トンネルマンションと戸建て住宅前の道路（市道平戸 231 号線）の切り回し、および出入口計画、地下埋設物の切り回し計画”とあります。工事期間中は、市道平戸 231 号線を通行止め为宜しいでしょうか。施工中に交通を確保するには、将来形状に市道を造り変える必要があり、新設	市道平戸第 231 号線の計画は、技術提案の内容として求めていますので指定はしていません。市道平戸第 231 号線の参考資料については、既往成果を参照してください。既往成果については、その他連絡事項によります。

	トンネルを中心に市道をかなり長い延長で嵩上げが必要となります。現時点での市道の完成図（詳細図面）をご教授願います。	
8	実施要領書 5 技術提案の評価項目 「V 安全管理に留意すべき事項」の“2. 第2トンネルマンションと戸建て住宅前の道路（市道平戸 231 号線）の切り回し、および出入口計画、地下埋設物の切り回し計画”とあります。道路は高台にあり、谷側の切り回しやトンネルの補強盛土側の切り回しは非常に困難と考えますが、車線数の減少や片側交互通行、一時的な通行止め等の計画も可能でしょうか。ご教授願います。	
9	図面 4 13/18 枚目の「【参考】第2トンネル起点側 土留工一般図」では、平戸市道 231 号の現況道路より函渠頂版は高い断面図となっています。函渠両側の平戸市道 231 号をかなり長い延長で嵩上げが必要となります（参考図で現在の市道より盛土して将来形状は高くなることは理解しています）。施工期間中（土留から函渠完成し嵩上げ舗装まで）は通行止めと考えて宜しいでしょうか。ご教授願います。	
10	全般 各現況横断道路について、本工事の施工に伴い現況横断道路を一定期間通行止めにする事は可能かご教示ください。	通行止めを含め現況道路の運用については、交通管理者等との協議が必要になります。地権者との協議によりますが、民地への出入り等を考慮した有益な提案を実施して下さい。
11	市道 231 号の埋設物の位置と高さを示す資料を提示願います。	埋設物は各事業者が所管しているため、各種台帳や管理者へ確認してください。
12	実施要領書 5 技術提案の評価項目 「V 安全管理に留意すべき事項」の“2. 第2トンネルマンションと戸建て住宅前の道路（市道平戸 231 号線）の切り回し、および出入口計画、地下埋設物の切り回し計画”とあります。計画には地下埋設物位置図が必要となりますので、開示をお願いできますでしょうか。	提案する工法の中で占用物の移設が必要となる場合は、移設計画を立ててください。
13	要求水準書 3.9 市道平戸第 231 号線下接続工 トンネルと交差する市道 231 号のインフラ（上下水道、ガス、通信など）占用位置や移設予定についてご教示ください。また同様に市道 129 号、512 号に関してもご教示ください。	
14	市道 231 号の現況縦断線形資料を提示願います。	既往成果を参照してください。既往成果については、その他連絡事項によります。
15	要求水準書 2. 2 施工ヤードに「現道との出入り対策については、一般通行者の進入がないようにする」とありますが、現道とはどこの場所でしょうか。ご教示ください。	工事区間に隣接及び接続する道路になります。（国道 1 号、環状 2 号線、各市道）
16	要求水準書 2. 3 事業損失防止で、本工事の影響が想定される家屋の事前事後調査を行うこと。とありますが、対象家屋の範囲をご教示ください。	各種文献等を参考にして、施工上の影響範囲を考慮し設定してください。
17	要求水準書 2. 4 土砂検定「汚濁処理ほかに伴う検定」の、具体的な内容をご教示ください。	土砂については、幸浦中継所での建設発生土受入手続によります。土砂等の土砂検定の結果、環境基準を超えた場合は、その成分により処分先を決定し、処分先の指示のもと決定を行うため、現時点では示せません。当初計画と相違が生じた場合は、その他連絡事項によります。
18	要求水準書 2.4 土砂検定 残土処分、汚濁処理ほかに伴う検定を行うこと。とありますが、具体的に何の検定を行うのかご教示ください。	
19	要求水準書 2. 7 地下水対策で、周辺井戸・湧水への対策対応を行うこと。とありますが、管理対象となる井戸・湧水の位置、諸元、対策対応の具体的内容をご教示ください。	本工事による影響範囲を設定のうえ、対応策を提案してください。 既往成果については、その他連絡事項によります。

20	第一トンネルおよび第二トンネルにおける地下水位の長期変動データをご提示ください。	既往成果については、その他連絡事項によります。
21	これまでの設計業務成果及び地質調査報告書について、開示願います。	
22	全般 標準案の設計成果を開示願います。	
23	全般 標準案の設計に係る土質報告書を開示願います。	
24	要求水準書 2.7 地下水対策 「周辺井戸・湧水への対策対応を行うこと。」とありますが、施工区間に関係する周辺井戸の位置や井戸水・地下水の利用状況などが分かる資料を開示いただけないでしょうか。	
25	要求水準書 3.10 市道平戸第 231 号線下接続工 市道平戸第 231 号線下接続部付近での地下水位の情報があればご教示ください。	
26	入札説明書 1(6)に予定価格が示されていますが、この金額の根拠となった図面・数量・工程・施工計画書をご提示下さい。	公告した図面及び現地確認により設計・計上してください。
27	入札説明書 2 入札参加資格の、配置予定技術者について、本工事は令和 14 年 3 月までと工事期間が長い為、一人の技術者が全期間にわたって専任することが難しいことが懸念されます。技術者の変更を柔軟に対応頂けますでしょうか。	技術者の変更につきましては、工事の状況を踏まえつつ、国土交通省の監理技術者制度運用マニュアル等に則り対応します。
28	要求水準書 2. 6 計測工について、瑕疵担保期間の計測管理は、工事完了後 2 年間と考えてよろしいでしょうか。	工事請負契約約款（設計・施工一括）第 53 条の規定に基づき対応します。
29	要求水準書 3. 4 土留め擁壁工で、「学校用地に対し、グラウンドとして利用できる面積を減少させることのないようにすること」とありますが、 施工期間中にグラウンドの一部を施工ヤードとして使用することは可能でしょうか。	学校及び教育委員会事務局との協議によります。
30	要求水準書 3. 4 土留め擁壁工で、『土留前面については、施工ヤードとして切土を行うこと』とあります。道路構造を考慮すると、土留壁を道路線形と平行に配置することも可能ですが、グラウンド用地外周に配置することが必要でしょうか。	平面図の通り計画してください。
31	図面 3 上部補償盛土平面図・横断図において、平面図と横断図で、補償盛土範囲を示すハッチング位置に不整合があります。どちらが正しいでしょうか。	平面図が正です。
32	図面 3 上部補償盛土 横断図について、横断図に表示された測点は市道部分であることを示しており、土被り 3m 未満の範囲が、「土被り不足」と記載されています。市道交差部について、トンネル施工中、完成後のいずれの期間も土被り 3 m 以上を確保することが要求されますでしょうか。	施工が可能で、躯体が成立するのであれば、土被りの制限はありません。
33	図面 4 図面地盤改良一般図に図示された、第 2 トンネル起点側 No. 23+10 付近の地盤改良の目的をご教示ください。	NATM 区間の掘削を終点側から想定しており、到達側切羽（カルバート区間との境界）が自立するように計画しています。
34	発注者以外（所轄警察署等）との協議を必要とする内容の提案も評価対象と考えてよろしいでしょうか。	評価対象については、実施要領書に基づきます。実現性があり有益なものと判断されるものに対して評価の対象とします。
35	要求水準書 3.4 土留め擁壁工において、学校用地に対して、現況のグラウンドとして利用できる面積を減少させることがないようすること、と記載されていますが、「図面 3 【参考】	土留め位置は平面図の通りに計画してください。土留めの工法は指定しません。学校グラウンドの面積を減らさず、かつ経済的で有用な工法があれば提案してください。

	第1トンネル終点側 自立式鋼管擁壁一般図」に示された鋼管矢板はグラウンド内に配置されており、要求水準書に示された上記要件と整合しません。完成時にグラウンド用地内に構造物を残置することは許容されると考えてよろしいでしょうか。また、許容される場合の条件を提示願います。	学校及び教育委員会事務局との協議により、当初計画と相違が生じた場合は、その他連絡事項によります。
36	要求水準書 3.4 土留め擁壁工 「学校用地に対し、現況のグラウンドとして利用できる面積を減少させることが無いようにすること。」とありますが、現況のグラウンドとして利用している面積・範囲をお示してください。また、グラウンドの形状を変えて面積を確保する提案でも構いませんでしょうか。	
37	要求水準書 3.4 土留め擁壁工 「学校用地に対し、現況のグラウンドとして利用できる面積を減少させることが無いようにすること。」とありますが、防球ネットが現在設置されている範囲まで現状維持とする必要があるでしょうか。	
38	要求水準書 3.4 土留め擁壁工 「学校用地に対し、現況のグラウンドとして利用できる面積を減少させることが無いようにすること。」とありますが、現況のグラウンドとして利用している面積・範囲をお示してください。また、グラウンドの形状を変えて面積を確保する提案でも構いませんでしょうか。	
39	図面1 施工範囲明示図(2/3)では、グラウンドの一部が赤枠で囲われ、「施工範囲」として扱っています。施工中にこの赤枠を超える範囲でグラウンド用地を使用することは許容されると考えてよろしいでしょうか。また、許容される場合の条件を提示願います。	学校及び教育委員会事務局との協議によります。
40	図面2 横断図(16)、図面3【参考】第1トンネル終点側 自立式鋼管擁壁一般図において、測点18~19付近では、中学校の防球ネットが切土範囲にあります。基本条件として「撤去可能なもの(復旧は別途協議対象)」と考えてよろしいでしょうか。	防球ネットの撤去が必要となった場合は、学校及び教育委員会事務局との協議によります。
41	総合評価実施要領書 5 技術提案の評価項目において、評価項目Vの1.に記載された「水路の切り回し計画」の提案として求められているものは、施工時の安全管理に関する事項であり、要求水準書3.7に記載されている「新設の埋設化」の構造や完成後に関する事項は含まないと考えてよろしいでしょうか。	提案内容は『水路の切り回し計画』です。よって、新設の埋設化は、評価内容としません。
42	総合評価実施要領書 5 技術提案の評価項目において、評価項目Vの1.に記載された「水路」の計画流量、勾配、断面の条件を提示願います。	「水路」は、公告した図面及び現地確認により、現況断面・現況勾配を考慮して設計・積算してください。詳細について協議によります。
43	実施要領書 5 技術提案の評価項目 「V 安全管理に留意すべき事項」の“1. 第1トンネルと第2トンネル間の現況横断道路(市道平戸512号線)や水路の切回し計画”。とあります。参考図より管路を既設水路に埋めることは理解しました。流量確保のため内径及び切回しの延長(外径は参考図にあります)について、ご教授願います。	「水路」は、公告した図面及び現地確認により、現況断面を確保して設計・積算してください。詳細について協議によります。
44	要求水準書3.9市道平戸231号線において、「マンションの取付け階段」は、「ベルフラワー東戸塚」の北側の階段を指すという解釈でよろしいでしょうか。	「マンションの取付け階段」は、「ベルフラワー東戸塚」北側階段です。

45	図面4【参考】第2トンネル起点側土留工一般図及び、要求水準書3.11に記載された、第2トンネル起点側擁壁の構造図面をご提示願います。	第2トンネル起点側擁壁の構造図はありません。公告した図面及び現地確認により想定して設計・積算してください。
46	図面のCADデータをご提供ください。	既往成果については、その他連絡事項によります。
47	図面 公告資料の図面のCADデータを頂けないでしょうか。	
48	総合評価実施要領書6(1)において、技術資料の提出部数は押印1部とその他のファイル9部と記載あります(別紙1も同じ)。一方で、別紙2には押印有り1部と押印なし14部と記載があります。押印有り1部と押印なし9部の提出でよろしいでしょうか。	総合評価実施要領書6(1)が正です。押印有り1部と押印なし9部を提出してください。
49	要求水準書1.2基本条件において、「平面線形：R=∞」とありますが、都市計画幅員の範囲内で、道路平面線形に若干の曲線を入れることは、許容されますでしょうか。	道路構造令等、基準に沿うものであれば構いません。ただし、警察関係者との協議を要します。
50	要求水準書1.2基本条件において、「平面線形：R=∞」とありますが、道路線形として直線を保つ必要がある区間があればご教示ください。	道路構造令等、基準に沿うものであれば構いません。ただし、警察関係者との協議を要します。
51	総合評価実施要領書12(2)評価値の算出において、「最低価格」の定義をご教示ください。	入札参加者の入札額のうち、最低であった金額を言います。
52	総合評価実施要領書5技術提案の評価項目 その他において、表中文は、「1. I～V以外の事項に関する提案」とあり、別紙3には「1. I～VI以外の事項に関する提案」とあります。どちらが正しいでしょうか。	別紙3「1. I～VI以外の事項に関する提案」が正となります。
53	総合評価実施要領書5技術提案の評価項目 若手・女性技術者の登用の欄に、配置予定技術者と担当技術者に若手技術者(40歳未満)を配置と記載がありますが、参加申請時の配置予定技術者に加えて、若手技術者・女性技術者を担当技術者として提案書提出時に提案すれば、加点されると考えてよろしいでしょうか。	入札参加資格確認申請時の技術者を評価します。
54	総合評価実施要領書5技術提案の評価項目 地域への貢献の欄の、その他の貢献とは、どこまでの地域の、どのような活動を示すのかご教授ください。(例えば、周辺地域の方への広報活動など)	通常の工事で地域との関連とされる内容と比較し、評価される内容と判断した場合は評価します。
55	総合評価実施要領書様式4-2、5-2、6-2実績を証明する補足資料において、同種工事の施工実績、配置予定技術者の施工実績、詳細設計の実績は、一般にはコリンズや契約書書類・特記仕様書で証明することが一般的ですが、様式4-2、5-2、6-2にこれらを貼り付けて提出するのでしょうか。その場合、枚数の指定はなしと考えてよろしいでしょうか。	実績を証明する補足資料についての制限枚数はありません。
56	総合評価実施要領書様式様式7-2若手・女性技術者の登用を証明する補足資料について、若手・女性技術者の登用を証明する補足資料は、監理技術者証の写し、在席証明できる証明書の写し、誕生日や性別が証明できる書類の写しを、様式7-2に貼り付けて提出するのでしょうか。その場合、枚数の指定はなしと考えてよろしいでしょうか。	各種証明できる書類の写しを添付してください。 実績を証明する補足資料についての制限枚数はありません。
57	入札説明書1(5)において、完成期限が令和14年3月31日と示されていますが、工期を短縮した場合は、繰り上げて竣工できますでしょうか。	予算執行上設定した期間であり、原則この期間としていますが、関係する手続きをクリアできれば前倒し竣工は可能と判断します。
58	要求水準書2.6計測工において、瑕疵担保期間中の計測も規定されています。今回、2本のトンネルを作る工事となりますが、一つのトンネル	工事請負契約約款(設計・施工一括)第53条の規定に基づき対応します。

	が完成した時点で、そのトンネルは瑕疵担保期間の計測を開始すると考えてよろしいでしょうか。	
59	要求水準書 2. 6 計測工において、瑕疵担保期間中の計測も規定されています。瑕疵担保中の計測とは、計測期間・計測方法、計測箇所をどのように考えればよろしいでしょうか。標準として想定されている内容をご提示ください。	施工中と同様の計測を行うことを想定しています。
60	図面 1 平面図 (1/3~3/3) において図示された交通幾何構造の根拠となる検討資料を提示願います。	既往成果を参照してください。既往成果については、その他連絡事項によります。計画交通量は、令和 5 年 1 月時点の推計結果である 16,300 台/日としてください。
61	図面 1 平面図 (1/3) 「交差点の運用については未確定」と記載がありますが、坑口側からの右折滞留長の変更は可能でしょうか。	交通管理者との協議によります。
62	図面 1 平面図 (1/3) に図示された右折滞留長の根拠となる数値(「1 サイクル当たりの平均右折車数」、「大型車混入率」)をご教示ください。	令和 5 年 1 月時点の数値である平均右折車数 2.9 台/サイクル、大型車混入率 5.75%になります。
63	第二トンネル坑口部のマンション「ベルフラワー東戸塚」の外階段の構造及びマンション建物本体と外階段との接続構造が分かる図面をご提示ください。	公告した図面及び現地確認により設計・計上してください。
64	縦断線形の表示において、縦断図、地質縦断図の計画高に相違があります。正しい計画高さをご提示ください。	縦断図が正になります。
65	要求水準書 3. 3 トンネル本体工で「区分地上権設定区間において区間越境をしないこと」とありますが、改良体以外の残置物がない地盤改良工法を、設定区間を越えた範囲で施工することは可能でしょうか。	事業用地を越境して改良体を施工することはできません。事業用地以外の官地については、管理者との協議によります。
66	本工事施工中に、市道 129 号線交差部西側に隣接する果樹園について、図面 3【参考】上部補償盛土平面図で図示された補償盛土施工範囲とその周辺を、要求水準書 3. 6 の条件のもとで、施工ヤードとして一時使用することは可能でしょうか。また、使用範囲等について制約条件があればご教示ください。	借地を想定していますが、地権者との協議によります。
67	要求水準書 5. 4. 2 設計業務内容の補足事項における近接構造物への影響検討に関連し、近接構造物として想定しているもの及び地盤変状の制限値として既定のものがあれば、ご提示願ください。	本工事による影響構造物や制限値等は、提案してください。
68	図面 3【参考】第 1 トンネル終点側 自立式鋼管擁壁一般図に図示された、防球ネットの支柱の根入れ深さが分かる図面をご提示ください。	公告した図面及び現地確認により設計・計上してください。参考資料は、その他連絡事項によります。
69	図面 2 横断図(19), (20)について、地形の入った図面をご提示ください。	公告した図面及び現地確認により設計・計上してください。
70	総合評価実施要領書 5 技術提案の評価項目において、「トンネル躯体の止水性向上に関する提案」を求められていますが、本トンネルは防水型トンネルとする必要がありますでしょうか。	指定はありません。
71	総合評価実施要領書 5 技術提案の評価項目において、トンネル地下構造物の耐震性能の確保に関する提案を求められていますが、どのような地震動を想定されているのでしょうか。	「道路橋示方書・同解説 V 耐震設計編 平成 29 年 11 月」に規定される地震動を想定しています。
72	総合評価実施要領書 5 技術提案の評価項目において、第一トンネル小土被り部交差道路にてトンネルの安定性確保のための盛土を計画する場合、これを残置して道路縦断線形を変更することは可能でしょうか。あるいは、トンネル完成後に撤去して現状復旧すべきかをご教示ください。	地権者との協議によりますが、民地への出入りに支障が無く、基準に則った線形であれば、変更可能もしくは残置可能です。

	い。	
73	総合評価実施要領書5 技術提案の評価項目において、第一トンネル近傍の中学校グラウンドへの影響とはトンネル掘削によるグラウンドの地盤変位を想定されているのでしょうか。	本工事(すべての工種)によるグラウンドへの影響を想定しています。
74	図面3【参考】第1トンネル法面工一般図において、第1トンネル起点側法面工図中の「本法面工は標準案とする」の標準案とは、のり面勾配1:0.5、または法枠工(F200)・鉄筋挿入工(補強材長6.0m)のどちらでしょうか。また、この標準案は坑口上部の切土のり面のみが対象でしょうか。	標準案は、のり面勾配1:0.5で、法枠工(F200)・鉄筋挿入工(補強材長6.0m)としています。この参考図は、坑口部上部の切土のり面のみを対象としています。工事の想定区域(赤線)の範囲で、実現性があり有益な案を提案してください。
75	図面1平面図(1/3)において、第1トンネル起点側法面工図中の法面線(緑線)は1段目のり面(最下段の1:0.5)が図示されていないという理解でよろしいでしょうか。	法面線(緑線)は、1段目のり面(最下段の1:0.5)を図示しておりません。
76	図面2横断面図(2)(3)において、「断面形状については標準案とする」とありますが、図中の法面線(赤線)の、のり面勾配1:0.8は、標準案において標準のり面勾配(法面補強不要)と想定されているのでしょうか。また、各法面における標準案の法面保護工をご提示いただけますでしょうか。	横断面図の勾配は、No.2の既設法面勾配と同程度(1:0.8)と設定していますが、工事の想定区域(赤線)の範囲で、実現性があり有益な案を提案してください。
77	図面1平面図(1/3)のNo.2~No.4付近に位置する西向き既設切土のり面について、2段目のり面(下から2段目)の頭部付近に認められるコンクリート台座は補強材頭部でしょうか。	公告した図面及び現地確認により判断してください。
78	図面1平面図(1/3)のNo.2~No.4付近に位置する西向き既設切土のり面について、補強材及び吹付の図面、仕様及び当時の施工経緯をご提示ください。	公告した図面及び現地確認により判断してください。また、経緯は不明です。
79	要求水準書3.10市道平戸第231号線下部接続工において「高欄の形式・デザイン・材質はメンテナンスフリー」とありますが、要求する耐用年数をご提示ください。	財務省令に則り、高欄であれば鉄筋コンクリート製は60年以上、鋼製は45年以上と設定してください。
80	要求水準書3.10市道平戸第231号線下部接続工 高覧のメンテナンスフリーとは、保守点検・維持管理が「一定期間」不要ということだと考えますが、どの程度の期間のノーメンテナンスを想定されているのでしょうか。	
81	坑門工の構造形式について標準案をご提示ください。	既往成果を参照してください。既往成果については、その他連絡事項によります。
82	要求水準書3.10市道平戸第231号線下部接続工について、構造物の具体的な要求性能(耐荷重性能、耐震要求性能等)をご提示ください。	カルバートとして設計する場合は、道路土工カルバート工指針における「重要度1」に対する性能を確保してください。
83	総合評価実施要領 技術提案評価項目 市道平戸第231号線下部接続工としての函渠(ボックスカルバート)が確保すべき耐震性能は道路構造令に基づき設定してよろしいでしょうか。	橋梁として設計する場合は、道路橋示方書・同解説における「耐荷性能2」を満足してください。既往成果については、その他連絡事項によります。
84	要求水準書4.1地盤条件について、市道平戸第231号線下部接続工の範囲の物性値は、技術提案の段階では、要求水準書に記載の数値を用いるという理解でよろしいでしょうか。	技術提案の段階では、要求水準書に記載の数値を用いてください。
85	入札説明書16(11)において、本工事の契約締結については、市議会の議決に付すべきものとありますが、第何回の市議会を想定していますでしょうか。	現時点で未定です。
86	要求水準書2.8役務費について、現場事務所等は、施工ヤードの範囲に設置可能でしょうか。	設置可能ですが、所定の手続きが必要です。

87	総合評価実施要領書5技術提案の評価項目Ⅱ「第2トンネル側方の民家、マンション、直上の工作物等」について許容変位量などの管理基準値があればご提示ください。	制限値等は提案してください。 既往成果については、その他連絡事項によりま す。
88	図面3【参考】第1トンネル終点側 自立式鋼管擁壁一般図において、第1トンネル終点側の自立式鋼管擁壁は本設構造物でしょうか。	参考図は、本設構造物として計画しています。 自立式鋼管擁壁は参考であり、構造を指定する ものではありません。
89	要求水準書3.10市道平戸第231号線下部接続工において、「ボックス形式、橋梁形式および構造物の延長は問わない」とは、市道平戸第231号線下部接続工のボックスカルバートの坑口位置の変更や構造形式、寸法の変更が認められるということでしょうか。	構造形式・形状は問いませんので、提案してくだ さい。
90	要求水準書3.9市道平戸第231号線において「私道や家屋の接続処理について対応する」とありますが、接続処理の詳細検討は契約後の詳細設計で実施するということよろしいでしょうか。	詳細設計時に実施することを想定しています。
91	要求水準書3.9市道平戸第231号線において「マンションの取付け階段に・・・改修を行うこと。」とありますが、改修の詳細検討は契約後の詳細設計で実施するということよろしいでしょうか。	詳細設計時に実施することを想定しています。
92	総合評価実施要領書5技術提案の評価項目 構造の安定性に関する提案「提案する工法による本体構造(支保工、覆工等)の安定性および妥当性の証明」について、開削工法部は対象外でしょうか。	参考図の開削工部は、形式・形状及び開削・非開 削を問いません。 構造全体として、構造の安定性に関して提案し てください。
93	総合評価実施要領 技術提案評価項目 「構造の安定性に関する提案 提案する工法による本体構造(支保工、覆工等)の安定性および妥当性の証明」とありますが、「本体構造」には市道平戸第231号線下接続工としての函渠(ボックスカルバート)も含まれますでしょうか。	
94	総合評価実施要領 技術提案評価項目 「本体構造(支保工、覆工等)」とありますが、この本体構造には開削区間躯体も含まれるのでしょうか。	
95	要求水準書3.10市道平戸第231号線下部接続工において「トンネル区間との接続部及び本体の漏水対策を実施すること」とありますが、漏水対策の詳細仕様検討は契約後の詳細設計で実施するということよろしいでしょうか。	提案された内容に沿って、詳細設計の中で実施 してください。
96	図面1 施工範囲明示図で示された施工範囲内であれば、仮設物は用地境界から出てもよろしいでしょうか。	仮設物についても事業用地を越境しないように 計画してください。 ただし、請負人の責任において、当該用地の所有 者から購入又は賃貸借契約を締結して使用する ことについて、本市はそれらの行為を妨げませ ん。
97	総合評価実施要領 技術提案評価項目 市道231号を横断するような土留め(鋼管杭等)はC-BOXの天端高よりも低い箇所については残置で良いかご教示ください。	道路区域内であれば、残置可能です。 場合により、道路管理者協議が必要になります。
98	総合評価実施要領 技術提案評価項目 市道231号を横断するような土留めに対して支保工にアンカーを用いる場合、231号の路下にアンカー(PC鋼線)を残置しても良いかご教示ください。	
99	第1トンネルの測点NO.11~18の区間は、「横浜市行政地図情報提供システム」で検索すると、	教育委員会事務局との協議によります。

	「埋蔵文化財包蔵地」に指定されていますが、トンネルの施工には支障ないと考えてよろしいでしょうか。	
100	要求水準書 3.1 第 1 トンネル起点側法面工において「用地買収が発生する法面区間は、土地使用承諾予定である」とありますが、法面区間以外に施工ヤードが必要な場合に、施工範囲や、その周辺の土地を一部伐採、整地して使用することは可能と考えてよろしいでしょうか。	地権者との協議によります。
101	実施要領書 5 技術提案の評価項目 「構造の安定性に関する提案」で“提案する工法による本体構造（支保工、覆工等）の安定性および妥当性の証明”とありますが、覆工等の“等”には何が含まれるのでしょうか。ご教授願います。	補助工法、函渠部が含まれます。
102	実施要領書 5 技術提案の評価項目 「構造の安定性に関する提案」で“提案する工法による本体構造（支保工、覆工等）の安定性および妥当性の証明”とありますが、覆工等の“等”に函渠部は含まれるのでしょうか。ご教授願います。	函渠部も含まれます。
103	実施要領書 5 技術提案の評価項目 「I 本体構造物の長期耐久性の確保に関する提案」で“1. トンネル躯体の止水性向上に関する提案（覆工や、開削部と非開削部との接合部）”と明記されています。函渠一般部は対象外と考えて宜しいでしょうか。ご教授願います。	函渠部についても対象です。
104	実施要領書 5 技術提案の評価項目 「I 本体構造物の長期耐久性の確保に関する提案」で“2. 維持管理の容易性を踏まえた本体構造物の材料や工法に関する工夫”とありますが、本体構造物に函渠部は含まれるのでしょうか。ご教授願います。	函渠部も含まれます。
105	実施要領書 5 技術提案の評価項目 「I 本体構造物の長期耐久性の確保に関する提案」で“3. トンネル（地下）構造物の耐震性能の確保（地震時の構造検討手法等の提案）”とありますが、トンネル（地下）構造物に函渠部は含まれるのでしょうか。ご教授願います。	含まれます。
106	実施要領書 5 技術提案の評価項目 「II 周辺環境に配慮したトンネルの安全・確実な施工計画に関する提案」で“1. 第1トンネル小土被り部交差道路（市道平戸 129 号線）の影響抑止への配慮（市道平戸 129 号線の改良等の坑外対策は実現性があり安全性や施工費が有利なら評価）”とありますが、“施工費が有利”とは、予定価格 9,408,080,000 円（消費税及び地方消費税を除く。）以内で、総額が他社の見積もりより低い場合と考えて宜しいでしょうか。ご教授願います。	「施工費が有利」とは、予定価格 9,408,080,000 円（消費税及び地方消費税を除く。）以内で、入札額の総額が他者より安価な場合を評価します。
107	実施要領書 5 技術提案の評価項目 「IV 品質管理に係る技術的所見」の“1. 施工時の品質管理方法”とあります。対象工種は何を想定されていますか。ご教授願います。	工種の限定はしていません。提案される施工法に対する品質管理方法について評価します。
108	実施要領書 5 技術提案の評価項目 「V 安全管理に留意すべき事項」の“1. 第1トンネルと第2トンネル間の現況横断道路（市道平戸 512 号線）や水路の切回し計画”とあります。工事に伴い最短で費用が削減できる施工ステップ検討には、現時点完成形の市道平戸 512 号線の形状（位置線形・平面図・断面図）が必要	既往成果を参照してください。既往成果については、その他連絡事項によります。

	です。これらについて、ご教授願います。	
109	実施要領書 5 技術提案の評価項目 「V 安全管理に留意すべき事項」の“2. 第2トンネルマンションと戸建て住宅前の道路（市道平戸 231 号線）の切り回し、および出入口計画、地下埋設物の切り回し計画”とあります。工事に伴い最短で費用が削減できる施工ステップ検討には、現時点完成形の市道平戸 231 号線の形状（位置線形・平面図・断面図）が必要です。これらについて、ご教授願います。	既往成果を参照してください。既往成果については、その他連絡事項によります。
110	図面 4 13/18 枚目の「【参考】第2トンネル起点側 土留工一般図」では、平戸市道 231 号の現況道路より函渠頂版は高い断面図となっています。施工中（土留から函渠完成し嵩上げ舗装まで）市道を通行可能とする必要がある条件の場合、平戸市道 231 号をかなり長い延長で嵩上げが必要であると考えております。現況道路線形・高さと同様の高さ等の関係図面を開示願います。	
111	実施要領書 5 技術提案の評価項目 「V 安全管理に留意すべき事項」の“1. 第1トンネルと第2トンネル間の現況横断道路（市道平戸 512 号線）や水路の切回し計画”とあります。市道平戸 512 号線は、本線土工区間と平面交差します。将来完成形は交差点形状となるのでしょうか。参考図の対象断面図に記載が無く、行き止まりとして交差しないのでしょうか。ご教授願います。	既往成果を参照してください。既往成果については、その他連絡事項によります。
112	実施要領書 5 技術提案の評価項目 トンネルと立体交差する市道（平戸 512 号線、平戸 231 号線）の完成形の仕様（計画道路幅員、道路高さ、舗装構成、勾配など）がわかる図面または資料を貸与願います。	
113	総合評価実施要領 技術提案評価項目 現況横断道路（市道平戸 512 号線）について、本工事完了後の交差部はどのような状態（平面交差など）になるかご教示ください。	
114	実施要領書 5 技術提案の評価項目 「V 安全管理に留意すべき事項」の“1. 第1トンネルと第2トンネル間の現況横断道路（市道平戸 512 号線）や水路の切回し計画”とあります。市道平戸 512 号線は、本線土工区間と平面交差する関係と理解できます。将来、交差点形状となる場合は、施工中に切回しながら将来形状に移行させていく計画となります。将来の交差点形状（現時点）の市道平戸 512 号線の形状（位置線形・平面図・断面図）をご教授願います。	既往成果を参照してください。既往成果については、その他連絡事項によります。
115	実施要領書 5 技術提案の評価項目 「V 安全管理に留意すべき事項」の“1. 第1トンネルと第2トンネル間の現況横断道路（市道平戸 512 号線）や水路の切回し計画”とあります。工事期間中は、市道平戸 512 号線を通行止めが宜しいでしょうか。施工中に交通を確保するには、将来形状に市道を造り変える必要があり、新設トンネルを中心に市道をかなり長い延長で嵩上げが必要となります。現時点での市道の完成図（詳細図面）をご教授願います。	市道平戸第 521 号線の通行止めは想定していませんが、交通管理者との協議によります。既往成果については、その他連絡事項によります。
116	実施要領書 5 技術提案の評価項目 「V 安全管理に留意すべき事項」の“1. 第1トンネルと第2トンネル間の現況横断道路（市道平戸 512 号線）や水路の切回し計画”とあり	市道平戸第 521 号線の通行止めは想定していませんが、交通管理者との協議によります。

	ます。用地の幅が狭く外周には一般の土地や建物が存在します。切り回しにおいて、車線数の減少や片側交互通行、一時的な通行止め等の計画も可能でしょうか。ご教授願います。	
117	実施要領書 5 技術提案の評価項目 施工量把握や市道切回しにおいて、舗装工程も考慮する必要があります。市道平戸 512 号線、市道平戸 231 号線の現況と将来の舗装構成、また、トンネル土工区間の舗装構成をご教授願います。	現道については、管理する土木事務所に確認してください。 新設する都市計画道路については、既往成果を参照してください。既往成果については、その他連絡事項によります。
118	実施要領書 5 技術提案の評価項目 第 1 トンネルと第 2 トンネル間に「市道平戸 216 号線（横浜市行政地図情報提供システム）」もあると思いますが、こちらは考えなくて良いでしょうか。ご教授願います。	現地状況により、一般の通行が想定されないため、考慮不要です。
119	実施要領書 5 技術提案の評価項目 「V 安全管理に留意すべき事項」の“各交差点（環状 2 号線、平戸小入口、市道平戸 231 号線、山谷）での工事用車両の一般通行者に対する安全の提案”とあります。実例等があれば警察協議等を前提とした計画も可能でしょうか。ご教授願います。	提案された内容は、実現性があり有益なものと判断されるものに対して評価の対象とします。
120	実施要領書 5 技術提案の評価項目 「VI 施工上の課題に係る技術的所見」の“2. 各交差点（環状 2 号線、平戸小入口、市道平戸 231 号線、山谷）の施工ヤードへの工事用車両の進入計画。トンネル間横断道路の施工ヤードへの工事用車両進入計画”とあります。実例等があれば警察協議等を前提とした計画も可能でしょうか。ご教授願います。	提案された内容は、実現性があり有益なものと判断されるものに対して評価の対象とします。
121	実施要領書 別紙 1 「技術資料」の様式等の欄に“本文の文字のポイントは 10.5 以上とするが、図表や写真等に記載する文字や付属するタイトル文字等の文字サイズは読み取り可能な文字サイズであれば可とする。”と文字サイズのみ規定されています。配布 word 様式の①余白調整や②枠内に記載する提案文章の行間調整は可能と考えて宜しいでしょうか。ご教授願います。	余白の変更は不可です。文章の行間調整は可能ですが判読不可能な文字は評価しません。
122	実施要領書 別紙 1 「技術資料」の様式等の欄に“会社名、住所、氏名、ロゴマーク等、応募者を特定できる表現は不可”と規定されています。技術名を記載した場合、インターネット検索で開発社が特定できると考えます。その場合は「自社技術」等の言葉を記載しなければ宜しいでしょうか。ご教授願います。	技術名は記載可能ですが、応募者が特定できる表現をしないでください。
123	現場説明書 「8 工事の施工にあたり、地下埋設物を調査し、支障又は近接する場合は、各企業者と綿密な調整をしてください。」とあります。地下埋設物の確認、移設や撤去等の協議は受注後に開始と考えて宜しいでしょうか。ご教授願います。	詳細設計時に実施することを想定しています。
124	現場説明書 「6 本工事は、土木工事検査書類作成・検査に必要な書類一覧表の（Ⅰ工事 / Ⅱ工事）を適用します。」とあります。適用マニュアルは、土木工事検査書類作成マニュアル 平成 30 年 4 月 横浜市道路局で宜しいでしょうか。ご教授願います。	適用するマニュアルは、「土木工事検査書類作成マニュアル 平成 30 年 4 月 横浜市道路局」です。

125	図面 1 施工範囲明示図 (1/3) ~ (3/3) に着色で用地内 が分けて明示されています。着色の区分をご教 授願います。	着色による区分は、特にありません。
126	図面 施工範囲図・用地図の線の色および着色の 凡例をご教示ください。	着色による区分は、特にありません。
127	図面 4 13/18 枚目の「【参考】第 2 トンネル起点側 土 留工一般図」では、平戸市道 231 号の現況道路よ り函渠頂版は高い断面図となっています。新設 するトンネルは、要求水準書 1.2 基本条件に“ 縦断線形：起点から+0.742%~-1.500%~- -0.300%”と規定されています。現状の平戸市 道 231 号線を、出来る限り通行可能な状況で施 工するには、縦断勾配を下げても函渠を低くする 必要がありますが変更は可能でしょうか。ご教 授願います。	基準に則り、実現性及び有効性が確認できるも のであれば可能です。
128	図面 2 縦断図 (1/3) ~ (3/3) に示す「計画高」とは、 どこの高さを示していますか。ご教授願います。	標準横断図に示す計画路面高 F H の標高を示し ています。
129	図面 PDF データの CAD データを貸与願えませ んでしょうか。	既往成果については、その他連絡事項によりま す。
130	実施要領書 5 技術提案の評価項目 V安全管理に留意すべき事項” 2. 第 2 トンネル マンション”とありますが、誤植でしょうか。ご 教授願います。	実施要領書 5 技術提案の評価項目の V安全 管理に留意すべき事項は、「2. 第 2 トンネル起 点側のマンションと戸建て住宅前の道路（市道 平戸 231 号線）の切り回し、および出入口計画、 地下埋設物の切り回し計画」が正となります。
131	要求水準書 1.3 関連工事 予定されている 2 箇所の接続工事の工事概要(工 期、工事内容など)がわかる資料、及び計画図面 を貸与願います。	予定されている 2 箇所の接続工事については、 実施時期未定です。 それぞれの工事発注時に資料を提供する予定で す。 既往成果については、その他連絡事項によりま す。
132	実施要領書 別紙 1 技術資料の様式がワードファイルで貸与されて いますが、ワード以外のデータ形式（例えば、パ ワーポイント、エクセル）などで作成は認めら れますか。ご教授願います。	ワードファイル以外のデータでの作成は可能で すが、「実施要領書 別紙 1 の提出資料」に基づ き作成し提出して下さい。
133	実施要領書 5 技術提案の評価項目 III 工程 管理に係る技術的所見 1. 土砂搬出計画に関する工程管理の提案 搬出ルート上の制約（指定走行ルート、走行禁止 ルートなど）や取り決め事項がありましたら、ご 教授願います。	搬出ルートについては、指定しておりません。
134	仕様書 別紙 3 建設発生土 第 1 トンネル起点側、第 2 トンネル終点側、第 1 トンネルと第 2 トンネルの間から仕様書 別紙 3 建設発生土に記載の幸浦中継所 [本市臨海 部] への運行ルートに指定・条件等がありました ら、ご教示ください。	
135	図面 施工範囲明示図 (1/3) ~ (3/3) 赤色の実践、及び点線の枠の範囲内が施工にお いて使用可能としてよろしいでしょうか。ご教 授願います。	赤線は工事の想定区域です。事業用地は、使用可 能です。事業用地以外の官地及び民地につい ては、協議によります。 ただし、現道の交通確保や民地へ出入りに配慮 した施工計画として下さい。
136	図面 施工範囲明示図 (1/3) ~ (3/3) 測点 No. 29 の地上部の道路が、都市計画幅 28 メ ートルより長い範囲で赤色の実線で囲まれてい ます。この道路は今回工事において改良を予定 されていますか。予定されていれば、完成形の仕 様（計画道路幅員、道路高さ、舗装構成、勾配な	本工事での改良は、予定していません。

	ど) 分かる図面または資料を貸与願います。	
137	図面 用地図 (1/3) ~ (3/3) 第1トンネルと第2トンネルとの間の土地2箇所(955-3B、949-6B)については、白色(水色に塗られていない)であり、工事用地等の未処理部分でしょうか。未処理部分でしたら、工事着手までに用地確保されるのか、今後の見込みについてご教授願います。	未定です。
138	入札説明書1(5)完成期限(工期)の根拠となる標準工程案を提示願います。	債務負担設定の範囲内で工期を設定しています。
139	要求水準書に則り実施する技術提案業務の中で、近接する構造物に対する影響検討についてお尋ねします。 p6に示された設計に用いる地盤定数を用いて、p9の「5.4.2 設計業務内容の補足事項」にしたがい、地盤変状予測ならびに適宜設定した制限値に対して既設構造物の安全性を検討するとあります。 上記の成果を横浜市殿に提出したのち、技術提案の評価委員会の審議を経て、審議を通過した成果品は、地盤変状予測手法ならびに設定した制限値はオーソライズされたものとなり、請負者の責を離れ、横浜市殿の成果品、すなわち発注図書の位置づけになるのでしょうかご教示願います。	実施要領書に記載の通り、本市が技術提案を適正と評価した場合においても、技術提案を行った契約の相手方の責任が軽減されるものではありません。
140	要求水準書の「リスク分担表」(共通事項)についてお尋ねします。 同表の社会リスクの内、第三者賠償リスク、「11) 横浜市の提示条件、指図、行為を直接の原因とする契約期間中の事故によるもの」というリスクは、横浜市殿が負担者となっております。 技術提案の評価委員会の審議を経て、オーソライズされた設計内容、施工方法、計測管理に基づいて施工した結果、第三者賠償リスクが顕在化した場合には、横浜市殿のご負担と考えてよろしいでしょうかご教示願います。	実施要領書に記載の通り、本市が技術提案を適正と評価した場合においても、技術提案を行った契約の相手方の責任が軽減されるものではありません。
141	要求水準書の「リスク分担表」(共通事項)についてお尋ねします。 同表の社会リスクの内、住民対応リスク、「13) 本工事の実施そのものに関する地元合意形成」というリスクは、横浜市殿が負担者となっております。 このようなリスク項目を設定されているということは、本工事の地元との合意形成がなされない可能性があることを示しているのでしょうかご教示願います。	本工事において、地元との合意形成がなされないことは、想定していません。
142	要求水準書「リスク分担表」(共通事項) - 社会リスク - 第三者賠償リスク 「12) 上記以外によるもの」は請負人負担とされていますが、「工事請負契約約款(設計・施工一括)」第29条1項但し書、2項本文及び3項の適用は排除されないとの理解で宜しいでしょうかご教示願います。	工事請負契約約款(設計・施工一括)及び要求水準書別紙リスク分担表に基づき、協議します。
143	要求水準書「リスク分担表」(共通事項) - 社会リスク - 住民対応リスク 「14) 請負人が行う業務(調査・施工)に関する地元合意形成」は請負人負担とされていますが、「本工事の実施そのものに関する地元合意形成」がなされないことに起因して、「請負人が行う業務(調査・施工)に関する地元合意形成」が困難となった場合、それにより工程遅延や工	工事請負契約約款(設計・施工一括)及び要求水準書別紙リスク分担表に基づき、協議します。

	事中断等が発生したときは、工期延長や中断に伴う追加費用を横浜市殿にてご負担いただけますでしょうかご教示願います。	
144	要求水準書「リスク分担表」（設計・施工）一施工段階のリスクー引渡前損害リスク 「17）工事目的物の引き渡し前に、工事目的物、工事材料、又は建設機械器具等について生じた損害、その他工事の施工に関して生じた損害」は請負人負担とされていますが、「工事請負契約約款（設計・施工一括）」第28条但し書の適用は排除されないとの理解で宜しいでしょうかご教示願います。	工事請負契約約款（設計・施工一括）及び要求水準書別紙リスク分担表に基づき、協議します。
145	詳細設計検討時に必要となるボーリング調査等の追加調査は、協議の上変更可能でしょうかご教示願います。	公告資料及び貸与した資料等で把握及び想定不可能である場合、協議の対象とします。
146	詳細設計検討時、追加調査等により「土質条件の相違」や「土質定数の考え方の相違」などが判明し、要求水準書で明示された土質定数が変更となった場合、それに基づいた設計に変更し、合わせて総価の増額変更も可能でしょうかご教示願います。	公告資料及び貸与した資料等で把握及び想定不可能である場合、協議の対象とします。
147	実施設計を行う際に必要な更なる調査を実施し、提案を覆す設計にする必要が発生した場合は、当該提案の計画を設計協議により変更し設計変更を実施していただけるのでしょうかご教示願います。	実施要領書に記載の通り、請負人は、提出した技術資料に基づき設計・施工しなければなりません。また、技術提案に係る設計変更などは、原則として行いません。
148	第一トンネルの低土被り部（測点 NO. 11 付近）は、上部の一般道を通しながら施工する条件で NATM工法を計画されているのでしょうか。また詳細設計により開削工法に変更する場合は、設計変更が可能なのでしょうかご教示願います。	交通を確保しながらの施工を想定しています。トンネルの工法は、限定していません。提案は実現性及び有効性が確認できるものとして下さい。
149	要求水準書のリスク分担表において「工事目的物の建設に要する資材置き場、仮設道路等の確保」が請負者の負担になっています。今回の工事の用地外に資材置き場を確保せざるを得なくなった場合も請負者負担になるのでしょうか。また仮設道路は、道路管理者との協議によって内容が大きく変わることが想定されます。仮設道路の確保はすべて請負者の負担になるのでしょうかご教示願います。	資材置き場については、事業用地内で確保することを想定しています。ただし、請負人の責任において、当該用地の所有者から購入又は賃貸借契約を締結して使用することについて、本市はそれらの行為を妨げません。仮設道路が大きく変更となると判断される場合には、協議の対象とします。
150	要求水準書のリスク分担表において「想定が困難な地下構造物や他企業埋設物等の移設費等に伴う工事費の増大」が、横浜市殿の負担になっています。現在確認されている地下埋設物・他企業埋設物をご教示願います。	各種台帳や地下埋設物の占有者に確認してください。
151	全般 トンネル本体構造（支保工、覆工等）として、【参考】標準断面図、【参考】支保パターン図が提示されていますが、基本条件として、必要内空断面、線形（横断、縦断）、用地境界範囲が満足されれば、トンネル掘削工法、トンネル本体構造として提案できるものと考えてよろしいでしょうか。	トンネルの工法及び構造は、指定しません。
152	図面 横断図（12）～（15） 第1トンネルと中学校グラウンド側事業用地境界との最小離隔について正確な寸法をご教示ください。防球ネットや排水側溝など学校側施設は事業用地の外側へ移設予定でしょうか。また、防球ネットの支柱構造（支柱長、根入れ長等）をご教示ください。	事業用地を越境しないようにしてください。関係機関との協議により変更が生じる場合は、協議します。防球ネットの参考資料は、その他連絡事項によります。

153	<p>図面 横断図(18)～(20) No. 25～28 の地盤線の表示がありません。地盤線が図示された横断図をご教示ください。また、測点 No. 24～No. 27+10 付近右側のマンションは傾斜地に建てられており、基礎杭の長さ、深さが異なると考えられます。特に、トンネル側の基礎杭との位置関係(平面・高さ)を確認したく、マンションの地下部の構造、基礎の詳細資料(杭長、杭伏図、梁伏図等)を開示していただけないでしょうか。</p>	<p>公告した図面及び現地確認により設計してください。 マンションの構造は既往成果を参考に設計してください。既往成果は、その他連絡事項によります。 現場状況等により、相違が生じた場合は、その他連絡事項によります。</p>
154	<p>図面【参考】函渠工一般図(その1)(その2)(その3) 市道付替道路 詳細設計別途(イメージ)とありますが、その道路線形(高さ)をご教示下さい。また、道路線形(高さ)を変更する提案も可能でしょうか。 また、パラペットの高さ(市道付替道路と調整必要)はどのように設定すればよいでしょうか。</p>	<p>市道平戸第 231 号線の参考資料は、その他連絡事項によります。道路詳細設計と合わせて道路設計の変更は可能です。パラペットの高さは市道計画高さに合わせた位置に設定して下さい。</p>
155	<p>図面【参考】地質縦断図 第2トンネルの地質縦断図はNATM区間と開削区間で区別されずに連続して描かれていますが、要求水準書ではトンネル設計と市道平戸第 231 号線下接続工設計で異なる土質定数を適用することになっています。この理由についてご教示ください。</p>	<p>参考図は、市道平戸第 231 号線下部を開削工法としてカルバートを施工する計画としているため、カルバート近傍で実施した地質調査のみを整理して設定した土質定数を適用しています。</p>
156	<p>図面【参考図】上部補償盛土平面図・横断図 下り線トンネルの土被り 3mを確保する計画になっております。一方、要求水準 3.6 第1トンネル上部小土被り区間(区分地上権設定範囲)では、「本工事完了後に耕作への影響を与えない土質・土被りを確保した盛土を行うこと」とあります。トンネル掘削時の盛土(上部補償盛土)と要求水準の盛土は同一の盛土をさすのでしょうか。あるいは、それぞれ別々の目的をもって、施工時期も行う盛土と考えてよろしいでしょうか。</p>	<p>No. 10 付近の盛土は、本工事完了後に耕作への影響を与えない土質・土被りを確保した盛土を想定しています。 目的は、耕作を続けるためトンネルとの離隔を確保するためになります。</p>
157	<p>図面【参考】第2トンネル起点側土留工一般図 測点 No. 23 と No. 24 の層序が示されています。開削部躯体の計画も現時点でこれを正として進めることでよろしいでしょうか。</p>	<p>開削部の計画もこれを正とします。 所要の機能が確保できる構造であれば構造形式や施工法は問いません。所要の条件に合致した有益な提案を実施して下さい。</p>
158	<p>総合評価実施要領 技術提案評価項目 「その他 1 I～V以外の事項に関する提案」とありますが、別紙3では、「その他 1 I～VI以外の事項に関する提案」とあります。どちらが正しいでしょうか。また、評価項目において、「～に関する提案」と「～に係る技術的所見」を使い分けていますが、履行義務等において何か違いはあるのでしょうか。</p>	<p>実施要領書別紙3 評価項目及び評価基準(2/4)の「I～VI」が正です。また、「～に関する提案」と「～に係る技術的所見」の使い分けは特にありません。</p>
159	<p>総合評価実施要領 技術提案評価項目 要求される止水性の基準についてご教示願います。 トンネル内湧水は裏面排水、中央排水を通じて坑外へ排出する計画でしょうか。もしくは、ウォータータイト型のトンネル計画でしょうか。</p>	<p>止水性について数値や仕様の規定はありませんが、本トンネルの止水性向上に有効な提案をしてください。 排出計画は、特に指定しません。排水する場合は、自然流下する計画としてください。</p>
160	<p>総合評価実施要領 技術提案評価項目 「I 本体構造物の長期耐久性の確保に関する提案 1. トンネル躯体の止水性向上に関する提案(覆工や、開削部と非開削部との接合部)」とありますが、「トンネル躯体」には市道平戸第 231 号線下接続工としての函渠(ボックスカルバート)も含まれますでしょうか。</p>	<p>含みます。</p>

161	総合評価実施要領 技術提案評価項目 設計耐用期間は何年を想定されているかご教示ください。	財務省令に則り、トンネルについては、鉄筋コンクリート製は75年以上、鋼製は50年以上と設定してください。
162	総合評価実施要領 技術提案評価項目 「維持管理の容易性を踏まえた本体構造物の材料や工法に関する工夫」について、維持管理とは竣工後に行われるものでしょうか。また、対象とする「維持管理」項目について、対象構造物、実施時期、実施者、管理項目、管理方法や頻度についてご教示ください。	竣工後に行う維持管理を考慮しています。維持管理項目は「道路トンネル定期点検要領」に基づきます。
163	総合評価実施要領 技術提案評価項目 「I 本体構造物の長期耐久性の確保に関する提案 2. 維持管理の容易性を踏まえた本体構造物の材料や工法に関する工夫」とありますが、「本体構造物」には市道平戸第231号線下接続工としての函渠（ボックスカルバート）も含まれますでしょうか。	含みます。
164	総合評価実施要領 技術提案評価項目 「I 本体構造物の長期耐久性の確保に関する提案 3. トンネル（地下）構造物の耐震性能の確保（地震時の構造検討手法等の提案）」とありますが、「トンネル（地下）構造物」には市道平戸第231号線下接続工としての函渠（ボックスカルバート）も含まれますでしょうか。	含みます。
165	総合評価実施要領 技術提案評価項目 「I 本体構造物の長期耐久性の確保に関する提案 3. トンネル（地下）構造物の耐震性能の確保（地震時の構造検討手法等の提案）」とありますが、ここで提案が求められているのは、耐震性能を確保できる本体構造物の提案、耐震性能を確保するための地震時の構造検討手法の提案のいずれか、それとも両方でしょうか。	地震時の構造検討手法も含めた提案として下さい。
166	総合評価実施要領 技術提案評価項目 「周辺環境に配慮したトンネルの安全・確実な施工計画に関する提案」について、民家や市道などの周辺環境に対する沈下・変位量および傾斜角等の許容値（管理値）があればご教示ください。	管理基準値も含めて提案してください。
167	総合評価実施要領 技術提案評価項目 参考図の上部補償盛土平面図には、市道平戸129号線が含まれません。市道への対策が不要な理由をご教示ください。	No.10付近の上部補償盛土の目的は、耕作を継続するために躯体との離隔を確保することです。
168	総合評価実施要領 技術提案評価項目 市道平戸129号線には地下埋設物として污水管が存在するが、埋設深さや径、その他地下埋設物に関する情報を開示願います。	各種台帳等を確認ください。
169	総合評価実施要領 技術提案評価項目 No.9～No.11の上部補償盛土施工時には、市道平戸129号線を通行止めにする事は可能でしょうか。ご教示願います。	通行止めは想定していませんが、交通管理者との協議によります。
170	総合評価実施要領 技術提案評価項目 中学校グラウンドへの影響抑止に関する提案について、想定する影響とは何かご教示願います。また、沈下や変位を想定している場合、その管理値（あるいは許容値）についてご教示ください。	本工事（すべての工種）によるグラウンドへの影響を想定しています。管理基準値も含めて提案してください。
171	総合評価実施要領 技術提案評価項目 小段排水側溝など排水工も設計・施工対象であるのか、ご教示ください。	小段排水溝も設計・施工の対象です。
172	総合評価実施要領 技術提案評価項目 土留め施工時のマンション等の変位など事前検討資料があれば、ご提示願います。	土留め施工時において変位管理が必要と判断される場合は、工法及び管理基準値も含めて提案してください。

173	総合評価実施要領 技術提案評価項目 「第2トンネル側方の民家、マンション、直上の工作物等への影響抑止対策」について、マンション基礎杭の位置などの詳細図を開示していただけないでしょうか。	既往成果を参照してください。既往成果については、その他連絡事項によります。
174	総合評価実施要領 技術提案評価項目 「第1, 第2トンネル掘削時の計測管理に関する提案」について、提案対象はトンネル掘削時のみであり、掘削完了後や工事完了後の計測管理について対象外かご教示ください。	技術提案として評価する内容は、掘削時の計測管理とします。
175	総合評価実施要領 技術提案評価項目 「第1, 第2トンネル掘削時の計測管理に関する提案」について、提案対象はトンネルのみであり、切土などの土工事の計測管理については対象外かご教示ください。	トンネル工事で必要となる全ての工種において、計測が必要となる項目であれば評価の対象となります。
176	総合評価実施要領 技術提案評価項目 騒音・振動の各規定値があればご教示ください。	各種法令に準拠した規定値を提案してください。
177	総合評価実施要領 技術提案評価項目 「掘進速度の確保(工程の遵守)、工程遅延リスク対応への提案」について、提案対象はトンネル掘削のみでしょうか。もしくはトンネル掘削を含む全体工程かご教示ください。	トンネル掘削を含む全体工程としてください。
178	総合評価実施要領 技術提案評価項目 「掘進速度の確保(工程の遵守)」とありますが、現時点で想定されている掘削速度や工程があればご教示ください。	既往成果を参照してください。既往成果については、その他連絡事項によります。
179	総合評価実施要領 技術提案評価項目 「主要部材の調達方法」について、主要部材とは具体的に何を指すかご教示ください。	本工事目的物の品質に係わる主要部材を対象としています。
180	総合評価実施要領 技術提案評価項目 「主要部材の調達方法」について、主要部材にレディーミクストコンクリートは含まれるのかご教示ください。	本工事目的物の品質に係わる主要部材を対象としています。
181	総合評価実施要領 技術提案評価項目 「主要部材の調達方法」について、調達方法とは調達先の選定から提案対象になるのかご教示ください。	本工事目的物の品質に係わる主要部材を確保する内容が記載されていれば、調達先は問いません。
182	総合評価実施要領 技術提案評価項目 「水路の切り回し計画」について、示す水路は、下記①②のどちらでしょうか。 ①参考図 第1トンネル水路切替工図にある開水路 ②市道512号線両脇にある道路側溝。	①参考図 第1トンネル水路切替工図にある開水路を対象としています。
183	総合評価実施要領 技術提案評価項目 231号線切り回し道路に要求される幅員などの規格をご教示ください。	市道平戸第231号線の切り回しについては、通行止め計画も含めて幅員や規格のご提案願います。 運用については、交通管理者との協議によります。
184	総合評価実施要領 技術提案評価項目 231号線の切り回し道路を現状位置に仮栈橋化するとした場合、現況道路よりも高くなるため、マンション正面の駐車場も仮栈橋に合わせて仮設化し、かさ上げすることになるが問題は無いかご教示ください。	市道平戸第231号線の切り回しについては、通行止め計画も含めて幅員や規格のご提案願います。 これにより、民地の調整が生じた場合は、地権者との協議によります。 道路の運用については、交通管理者との協議によります。
185	総合評価実施要領 技術提案評価項目 市道平戸231号線の通行(国道交差点からの入退場)を計画するにあたって、通行車両の制限等がありますでしょうか(重量制限など)。ご教示ください。	車両制限についての詳細は、道路構造に係るものは道路管理者、規制に係るものは交通管理者へ確認願います。 当該道路は住宅内道路となっています。
186	総合評価実施要領 技術提案評価項目 交差点付近に道路使用許可を必要とする安全設	道路使用許可申請時の交通管理者の判断によります。

	備設置の可否についてご教示ください。	
187	総合評価実施要領 技術提案評価項目 交差点（市道平戸 231 号線）が示すのは、下記 ①②のどちらでしょうか。 ①国道 1 号線との信号交差点 ②市道平戸 512 号線との交差点	市道平戸第 231 号線については、①②どちらも 対象としています。
188	要求水準書 1.3 関連工事 市道平戸第 231 号線と 512 号線の接続部で予定 されている改良工事の具体的内容・時期につ いてご教示ください。	時期については未定ですが、本工事の詳細設計 内容を踏まえて決定します。
189	要求水準書 2.1 共通項目 昼間施工の作業時間帯として想定しているもの があればご教示ください。 「明かり区間は昼間施工を標準としている」と ありますが、夜間施工を含んだ提案は可能でし ょうか。	昼間施工は通常勤務すべき時間帯（8～17 時）内 を想定しています。 明かり区間の夜間施工については、実現可能で 有益な提案であれば可能です。
190	要求水準書 2.5 設計 「横浜市が認める各種基準」の中に、設計で該当 する基準が含まれていない場合、適用した基準 を記載した上で、その基準に準拠して設計する ということで、よろしいでしょうか。 また、設計業務において「横浜市が定めている準 拠すべき各種基準」をご教示ください。	適用する基準の採用根拠を明記したうえで、設 計を進めてください。 「横浜市」「横浜市道路局」「日本道路協会」「国 土技術研究センター」「全日本建設技術協会」「土 木学会」「国土交通省」「建設省」「東・中・西 日本高速道路株式会社」「首都高速道路株式会 社」「その他関係法令、関連」が発行する図書等 に準拠してください。その他の基準を採用する 場合は、採用根拠を明記してください。
191	要求水準書 2.6 計測工 「瑕疵担保期間についても計測管理を継続する ものとする」とありますが、具体的に何の計測 を継続することを想定されているのかご教示く ださい。	本体構造物と周辺影響に対する計測を想定して います。
192	要求水準書 2.7 地下水対策 【参考】標準断面図では排水トンネルとなっ ていますが、工事後の井戸の復水は必須の条件と お考えでしょうか。あるいは、工事中も、井戸涸 れのないようにする必要（井戸水の利用を補償 する対策ではなく、井戸涸れを絶対に発生させ ない）があるのでしょうか。あわせて、ご教示く ださい。	井戸については、原則トンネル完成後の復水を 想定しています。
193	要求水準書 3.1 第 1 トンネル起点側法面工 法面に緑化の必要性があるか、ご教示ください。	法面保護は必要です。法面緑化を含め、維持管理 が容易な提案をお願いします。
194	要求水準書 3.3 トンネル本体内工 要求水準書 3.3 トンネル本体内工に「照明設備 や通信設備等の付帯設備の配置計画を行うこ と」とありますが、設計図（参考）に付帯設備配 置図がありません。現時点で計画予定の付帯設 備配置図をご教示ください。また、掘削を伴う箱 抜工の有無やその寸法などのわかる詳細図をご 教示ください。	提案するトンネル構造に応じた照明設備や通信 設備等の付帯設備の配置計画・構造の設計を行 ってください。 参考資料として既往成果を参照してください。 既往成果については、その他連絡事項によりま す。
195	要求水準書 3.3 トンネル本体内工 「区分地上権設定区間においての区間越境を設 定しないこと」とあり、第 1・第 2 トンネルの支 保パターン図にロックボルトが設計されていま せん。地上が民地においてロックボルト等の支 保工は都市計画幅や地上区分権設定範囲を超え てはいけないと理解していますが、横浜市用地 や市道等の官地においては、地上の利用、地中へ の最終構造物の残置（ロックボルト等の支保工、 あるいは、トンネルに限らず、地盤改良体、土留 め鋼管杭）は可能でしょうか。	事業用地を越境しないようにしてください。 事業用地外の官地については、実現可能で有益 な提案であれば可能です。
196	要求水準書 3.3 トンネル本体内工 「区分地上権設定区間においての区間越境を設	第 2 トンネルの区分地上権設定範囲は、公告し た図面の通りです。

	定しないこと」とありますが、全工事区間の区分地上権設定区間が設定されている箇所を明示していただけないでしょうか。公告資料の施工範囲明示図(1/3)～(3/3)で第2トンネル区間は記載事項を確認できますが、記載の条件でよろしいのでしょうか。また、第1トンネルは記載がありませんが、これから設定されるのでしょうか。	第1トンネルは、当該区間の着工までに、権利設定または施工承諾を取得する予定です。
197	要求水準書 3.5 第1トンネル終点側法面工対象の法面はトンネル上部の盛土法面でしょうか、ご教示ください。 (平面図(2/3)では、引き出し線で示されている範囲がトンネル上部の盛土範囲とずれているので)	トンネル上部、都市計画道路の北側及び南側の法面が対象となります。
198	要求水準書 3.6 第1トンネル上部小土被り区間 事業用地内であれば、No.9～No.11 およびNo.17～No.18+7の極小土被り区間を施工ヤードとして使用し、地上から地盤改良できるものと考えてよいでしょうか。また、事業用地内の果樹園は現状復旧が条件でしょうか。地盤改良する際、地上からの深さ制限はあるでしょうか。ご教示ください。	地盤改良は、No.17～No.18+7の範囲は、所管する部署との協議によりますが可能と考えています。 No.9～No.11の民地については、請負人が必要とする場合、請負人の責任において、当該用地の所有者と協議してください。 地盤改良する際は、土地の所有者と協議のうえ決定してください。
199	要求水準書 3.9 市道平戸第231号線下接続工 接続工の構造断面に応じて市道平戸第231号線の道路線形(平面・縦断)を設計するとの理解で問題ないでしょうか。	市道平戸第231号線下接続工の提案する構造断面に応じて市道平戸第231号線の道路線形(平面・縦断)を設計してください。
200	要求水準書 3.10 市道平戸第231号線下接続工 ボックス形式とした場合に準拠すべき基準や指針をご教示ください。	土被りに応じて「カルバート」「橋梁」形式が決定されるため、それぞれについて、道路土工カルバート工指針、道路橋示方書に準拠して設計してください。
201	要求水準書 3.10 市道平戸第231号線下接続工 開削部のRC構造物に対して維持管理上求められる具体的な項目があればご教示ください。	「落書き防止対策」「剥落対策」「漏水対策」を踏まえたうえで、実施要領書5技術提案の評価項目I本体構造物の長期耐久性の確保に関する提案における維持管理上で有益な提案を行って下さい。
202	要求水準書 3.10 市道平戸第231号線下接続工 「高欄の形式・デザイン・材質はメンテナンスフリーとし、景観に沿ったものとする。」とあるが、これは橋梁形式とした場合にのみ適用されると理解してよろしいでしょうか。	土被りに応じて「カルバート」「橋梁」形式が決定され、橋梁形式とした場合に適用します。
203	要求水準書 4.1 設計に用いる地盤定数 第1トンネル起点側法面工の設計において適用すべき土質定数をご教示ください。	既往成果を参照してください。既往成果については、その他連絡事項によります。
204	要求水準書 4.1 設計に用いる地盤定数 市道平戸第231号線下接続工の設計に用いる土質定数について、各数値の右肩に*1～*4が付記されています。これは何を意味するものでしょうか。	既往成果を参照して下さい。既往成果については、その他連絡事項によります。 *1:表の一般値(表5-1-1、2)による。 *2:N値より計算式で求めた値 *3:室内土質試験で求めた値 *4:プレッシャーメータ試験で求めた値
205	要求水準書 4.2 設計に用いる地盤定数 市道平戸第232号線下接続工の土質定数表中の※1、※2、※3、※4とは何を示しているかご教示ください。	
206	要求水準書 4.1 設計に用いる地盤定数 市道平戸第231号線下接続工の土質定数に示されている各層の厚さ、高さ情報をご教示ください。	既往成果を参照してください。既往成果については、その他連絡事項によります。
207	要求水準書 5.4.2 設計業務内容の補足事項 「近接構造物への影響検討」において検討対象	影響範囲を想定し、設計・計上してください。

	とすべき近接構造物をご教示ください。	
208	要求水準書 別紙 リスク分担票 要求水準書 別紙 リスク分担票（設計・施工）において、施工段階のリスク_用地リスクには、「地質条件等に関するもの」がリスク内容に記載されていますが、「工事遅延リスク」、「工事費増大リスク」には「地質条件等に関するもの」が記載されないのでしょうか。	要求水準書 別紙 に記載の通りです。
209	全般 第三者協議が必要となる提案（用地外において設備の設置や計測等を行う提案など）は、技術提案の対象外となるのかご教示ください。	提案された内容は、実現性があり有益なものと判断されるものに対して評価の対象とします。
210	施工範囲明示図 施工範囲明示図で赤線囲み内は、本工事の施工範囲で使用可能と考えてよろしいでしょうか。現段階で、水色域は横浜市用地、黄・ピンク・緑色域は区分地上権設定完了（トンネルで土地の地下利用承諾済み）、道路（官地）を除き、あるいは無着色部は区分地上権設定未完了あるいはトンネルで土地の地下利用未承諾でしょうか。また、施工条件として、用地取得、土値利用承諾状況を考慮する必要があるのでしょうか。ご教示ください。	赤線は工事の想定区域です。着色による区分は特にありません。事業用地及び区分地上権範囲で施工してください。施工条件として、用地取得、区分地上権設定及び土地使用承諾等を考慮する必要があります。
211	施工範囲明示図 現時点で、施工範囲明示図の無着色部は区分地上権設定未完了あるいはトンネルで土地の地下利用未承諾であるならば、各区域の着手開始予定をお教えください。時期の提示が困難な場合、第1トンネルは起点側切土、第2トンネルは導坑掘削、開削部土留めの開始予定時期をご教示ください。	第1トンネルは、全体工期を鑑み調整中です。第2トンネルの開始時期に制約は、ありません。
212	全般 補償盛土材の条件があればご教示ください。（盛土材の指定や、セメント系改良材の使用可否など）	普通土（復旧後の耕作に影響の無いもの）を想定しています。
213	全般 標準案における自立鋼管擁壁の最終形（撤去、残置）についてご教示ください	残置として想定しています。
214	全般 中学校グラウンド沿いに鋼管杭を施工するが、鋼管杭に土留めアンカーを施工する場合、グラウンド下へアンカーが入っても良いか。また、PC鋼線は残置可能かをご教授願います。また、グラウンド内への計測器設置の可否についてご教示ください。	グラウンド下へのアンカー施工は、学校及び教育委員会事務局との協議によります。グラウンド内の計測は可能と考えていますが、学校及び教育委員会事務局との協議によります。
215	全般 標準案における工程及び施工計画の資料を開示していただけないでしょうか。	既往成果を参照してください。既往成果については、その他連絡事項によります。
216	全般 第一トンネルの低土被り部に補償盛土が計画されていますが、これは果樹園が移転することを意味するのでしょうか？耕作物の移転や復旧に関する条件をご教示ください。	補償盛土の目的は、耕作を続けるためにトンネルとの離隔を確保するためです。現時点において耕作地の移転は、ありません。
217	全般 市道平戸 512 号線、市道平戸 231 号線を切回した際に確保すべき条件（道路幅、勾配等）はありますでしょうか。	切り回しについては、通行止め計画も含めて幅員や規格のご提案願います。運用については、交通管理者との協議によります。
218	全般 地中内のアンカー、ロックボルトの施工の可否についてご教示ください	道路区域内、事業用地内及び区分地上権範囲であれば、アンカーやロックボルトの施工は可能です。

その他連絡事項

- ・設計書類及び回答書等において、現場状況等に設計想定と相違が生じた際は、必要と判断される事項についての協議に工事請負契約約款（設計・施工一括）及び要求水準書に準じて応じます。
- ・既往成果及び参考資料は、本工事の参加資格を有している希望者に対して、道路局建設課（市庁舎 22 階窓口）にて貸与します。なお、横浜市個人情報の保護に関する条例に準拠して、個人情報取扱特記事項の個人情報保護に関する誓約書（様式 1）及び研修報告書（様式 2）を提出してください。
- ・既往成果及び参考資料は、決定事項ではありません。